

受け入れ時のオリエンテーションの進め方

## 受け入れ時のオリエンテーションの進め方

### オリエンテーションの意義と準備

#### 受入児童生徒及び保護者の不安を解消

- ・日本の教育制度について
  - ・学校生活の様子について
  - ・日本語指導等の支援について
- ※概要を簡潔に説明

#### 学校生活の中で起きるトラブルの回避

- ・教材や給食費等の集金について
  - ・独立行政法人日本スポーツ振興センターの保険加入について
  - ・就学援助申請について
- ※必要書類の説明と記入

#### 【事前の準備】

- ・説明時の資料を作成する。
- ・各種手続きに必要な書類を準備する。

#### 【心構え】

- ・一度にたくさんのことを説明しない。
- ・必要な書類等はその場で確認し、受け取る。

- ・受入児童生徒の母国の教育制度について事前に情報を得る。
- ・オリエンテーションに同席するメンバーの選定と時間設定を行う。(健康面、安全面についても話し合える人選が望ましい。)
- ・通訳の同席を事前に依頼(できれば打合せを)する。

※ 学校や受け入れる児童生徒、保護者の実態に応じて本手引きを活用する。

### オリエンテーション当日

※ P20【小学校】、P24【中学校】「編入学(転入学)される児童(生徒)と保護者のみなさまへ」の内容に沿って説明する。図の中の吹き出しには主に別添の資料の頁番号を記載した。

## 自己紹介

必要最小限の  
ことを、ゆっ  
くりと簡潔に

## 教育制度等について

### 教育制度の違いについて

- ・ 国による違いを保護者に確認しながら説明する。

P6 「I 日本の学校制度」

P16 「ブラジルと日本の教育制度について」

### 学校のきまり

- ・ してはいけないことや、持ってきてはいけない物を説明しておく。

P11 「4 きまり・規則」

P27 「10. 学級での生活について」

### 集金の内容・金額・方法

- ・ 授業料と教科書は無償だが、給食費、教材費等が自己負担になることを説明する。
- ・ 月々、及び年間に必要な金額の目安を示す。

P11 「5 集金」

P30 「集金のお知らせ」

P31 「学校集金の口座振替について」

## 登下校・通学について P20, 24

### 通学の方法及び安全の確保

- ・ 通学団の所属、集合の時間と場所、通学路の確認あるいは自転車通学におけるヘルメット着用等について、翌日の朝から安全に通学できるように確実に伝える。
- ・ 下校の時間と方法を確認する。
- ・ 台風時等の登下校について確認する。
- ・ 欠席の連絡方法を確認する。
  - ※ 実情に応じて確実に連絡が取れるようにする。
- ・ 遅刻しても登校できることを確認する。
  - ※ 遅刻すると学校に入れてもらえないきまりの学校から転入する児童生徒もいる。

P32 「台風時等における児童・生徒の登下校のお知らせ」

P33 「非常天災時の登校についてのお知らせ」

P34 「欠席届」



## 所属について P20, 24

クラスは\_\_年\_\_組です。  
担任は \_\_\_\_\_先生です。

## 服装や持ち物について P20, 24

P40 「学校に必要な物(写真)」

### 準備する物や購入の案内

- ・ 通学時の服装や体操服など、学校生活に必要な物を実物を示しながら説明する。
- ・ すぐに必要な物と、順次そろえればよい物に分けて説明する。
- ・ 保護者の負担軽減のため、制服や学習用具について、例えば卒業生の物等を使い購入せずにすむ物についても説明をする。

## 昼食、掃除について P11, 21, 22, 25

### 給食、掃除

- ・ 宗教上の制限等で食べられない物を確認しておく。
- ・ 費用及び集金方法について説明する。
- ・ 給食も掃除も実施していない国もあるので、大切な教育活動の一環であることへの理解を求める。

学校生活に必要な言葉  
の習得の第一歩

### 児童生徒に対して

- ・ 学校生活への不安を軽減し、安心して登校できるように、できるだけ学校案内を行う。
- ※ P39 「児童生徒への学校案内について」

## 必要な書類の提出について P7, 22, 25, 26

- ・ 日本国籍の有無、取得の予定を確認する。
- ・ 外国人登録証の写しを預かる。
- ・ 保護者、勤務場所、雇用主又は担当者の連絡先、通訳ができて連絡のつく方の保護者による指定、不在の場合の対処方法についても確認しておく。
- ・ 就学援助を受けられることを説明しておく。
- ・ 登下校も含めた、学校で過ごす時間帯の事故について医療給付が得られること、及び加入負担について説明し加入を勧める。  
できるだけその場で手続きをする。
- ・ 日本語の習得状況とともに使用言語を確認する。
- ・ 必要に応じて日本で高校や大学などへの進学を考えているかどうかを確認しておく。
- ・ アイデンティティの確立という意味でも大切なことなので、名前(フルネームと呼称)の正確な表記や発音を確認しておく。
- ・ 出身国での学年については、日本と違う場合があるので、必ず確認する。
- ・ 集団生活(保育所・幼稚園)の経験があるかどうかを確認する。
- ・ これまでに受けた教育や学習状況(教科等)について確認する。
- ・ 今後の指導に生かすため、得意なことや性格等についても聞いておく。

P7 「Ⅱ 就学の手続き」 及び  
P28 の「家庭と学校をつなぐ資料」の内容に沿って進める。

P35 「就学に必要な費用の援助について」  
P37 「就学援助申請書」

P38 「独立行政法人日本スポーツ振興  
センター加入同意書」

## 学習について P22, 23, 26

当面の学習や教科の説明  
時間割や日課表の説明